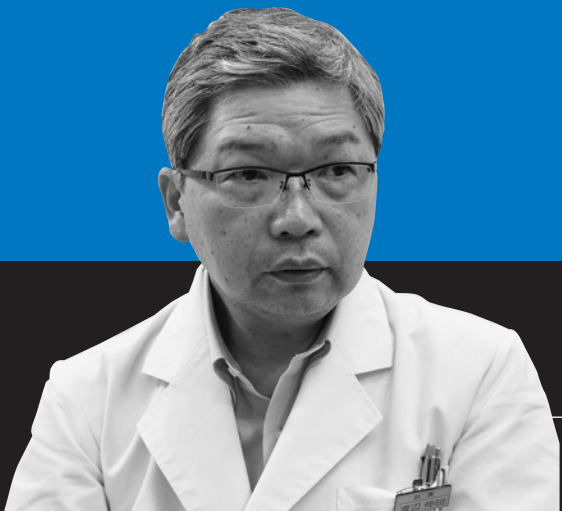


開業医院施設 Interview

インタビュー



渡辺内科クリニック (兵庫県西宮市)

渡辺 伸明 先生 Nobuaki Watanabe

〒662-0971 兵庫県西宮市和上町2-39
TEL 0798-23-5160 <http://www.watanabe-naika.jp/>

渡辺内科クリニックは兵庫県西宮市に開業し、2016年で15年目を迎える。7人のスタッフが日本糖尿病療養指導士 (CDEJ)の資格を有し、患者さんを多職種で支えるチーム医療を展開しており、スタッフ主催の症例検討会や、学会発表も精力的に行うなど個々のスタッフが高い意識で取り組み、きめ細やかな療養指導を患者さんに提供している。院長の渡辺伸明先生に糖尿病の診療方針やチームによる療養指導の実際についてお話を伺った。

理想のチーム医療を実現するべく 開業の道を選択

一開業のきっかけについて教えてください。

私は大阪大学大学院を修了後、大阪大学医学部第二内科で消化管ホルモンと糖尿病の研究に携わり、兵庫県立西宮病院で臨床経験を積みました。糖尿病を専門に選択したのは、医療者の関わりによって患者さんの健康寿命を延ばすことのできる疾患であると感じたことが大きな理由でした。何十年にもわたる長い経過を良好なコンディションで過ごしていただけるよう、患者さんの人生の伴走者になることに大きな魅力を感じたのです。患者さんの生活背景にまで目を配り細やかな治療を行うためには、多職種によるチーム医療が必要不可欠です。しかし、病院ではどうしても部署間の垣根が障害となる場面が生じてきます。また、患者さんの待ち時間が長く、お話をじっくり開きたい時にも時間が十分に確保できないもどかしさも感じていました。理想とするチーム医療を実

現し、療養指導に力を入れるためにはクリニックというコンパクトな診療形態のほうが適していると考え、2001年に開業しました。

一現在の診療体制と治療実績を教えてください。

現在のスタッフは常勤、パートを合わせて看護師4人、医療事務5人、管理栄養士4人、臨床検査技師3人、薬剤師3人で、診療は大学に籍を置く医師との2診制としています。2診制を始めたのは、十分な余裕を持って患者さんを診ていくために必要と考えたからです。加えて、大学で最先端の研究に携わる若手医師から刺激を受けたいという思いもありました。現在、月間の来院人数は約1,000人、そのうち約9割が糖尿病患者さんで、残りの約1割は高血圧症や脂質異常症、痛風などの生活習慣病の患者さんが中心です。

一開業当初、ご苦労されたことはありましたか。

40代前半で開業しましたが、病院勤務医時代に診ていた患者さんが多く通院して下さいましたし、糖尿病の診療は内視鏡やMRIなど高額な設備も必要ありま